

令和8年1月8日

報道関係者

出版関係者 各位

国立民族学博物館

広報企画会議長 山中 由里子

報道関係者と民博との懇談会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本館の広報活動については、平素から格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本館の研究や展示についての旬な話題をより詳しくお伝えするために、標記懇談会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、今回の懇談会については、館内の会議室での開催にあわせて、Web 会議システム（Zoom）による配信を行います。懇談会は事前申込制とさせていただきますので、別紙の報道関係者と民博との懇談会参加申込書に必要事項を記載のうえ、1月13日（火）までにメールにてご返信ください。

来館での参加を希望される方は、本紙を印刷、またはスマートフォンで表示した画面を自然文化園窓口（車両の方は迎賓館口）にてご提示ください。同園内を無料でご通行いただけます。

敬具

記

日 時：令和8年1月15日（木）15:30 ～ 17:00 第1会議室

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続き館長室にてご懇談ください。

○主な話題

- ・ 特別展『シルクロードの ^{あきんど} 商人 語リ—サマルカンドの遺跡とユーラシア交流—』 （話者：寺村裕史 准教授）
- ・ 企画展『ドルポ——西ネパール高地のチベット世界』 （話者：南真木人 教授）
- ・ 最新の研究『人類基礎理論研究部言語情報学研究ユニットの設置について』 （話者：菊澤律子 教授）
- ・ 最新の研究『ファシズム期の人類学—インテリジェンス、プロパガンダ、エージェント』 （話者：飯田卓 教授）

※話題の詳細については、別紙「話題一覧」をご参照ください。

報道関係者と民博との懇談会参加申込書

報道関係者と民博との懇談会に、

ZOOM にて参加する

来館して参加する

貴社名 _____

御職名 _____

御芳名 _____

メールアドレス (ZOOM 参加者のみ)

(こちらのアドレスに ZOOM のミーティング用 URL を送付します。)

【ZOOM について】

- ・ ZOOM 参加メールは後日に配信します。メールに ZOOM のミーティング用 URL を記載しておりますのでご確認ください。
- ・ 1 月 15 日 (木) 15:15 から接続が可能となりますので、参加メールに記載の URL からミーティングルームにお入りください。
- ・ ミーティングルームに入室の際はご所属と氏名をご表示ください。

※事前に ZOOM アプリのインストールをお願いします。

※懇談会開始時に参加者全員に強制ミュートをかけさせていただきます。

※懇談会中はミュート設定をオンにし、音声がでないようにお願いします。

質問や発言をしたい場合、ミュートをオフにいただければ司会者が指名します。

不適切な発言等により進行に支障が生じる場合は退室いただく場合がございます。

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2026 年 1 月 15 日(木)15:30～17:00 懇談会

1. 挨拶

— 関 雄二 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

3. 特別展「シルクロードの商人^{あきんど}語り—サマルカンドの遺跡とユーラシア交流—」

「商人^{あきんど}」の活動に焦点を当てながらシルクロードを行き交った文物を展示することで、過去から現在に至るまでの中央アジアにおける文化の多様性や、広範な交流・交易の実態を紹介いたします。

会 期：2026 年 3 月 19 日 (木) ～ 6 月 2 日 (火)

会 場：特別展示館

観覧料：一般 1,200 円、大学生 600 円、高校生以下無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください

※本館展示もご覧いただけます



出土直後の女神ナナの頭部
(日本・ウズベキスタン共同調査隊提供)

— 寺村 裕史 (学術資源研究開発センター 准教授) —

4. 企画展「ドルポ——西ネパール高地のチベット世界」

ドルポとは西ネパールのドルパ郡の北に広がる高地のことです。本企画展では、ドルポをくまなく歩いてきた美容師・ドルポ探求家・写真家、稲葉香の珠玉の写真と、川喜田二郎が率いた探検隊や田村善次郎が率いた調査隊が収集した民具などを展示し、ドルポの現在と変容の軌跡を探ります。



冬の法要 (2019年、サルダン村サムイエ・
チョリン僧院、撮影：稲葉香)

会 期：2026 年 3 月 12 日 (木) ～ 6 月 16 日 (火)

会 場：本館企画展示場

観覧料：一般 780 円、大学生 340 円、高校生以下無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください

※本館展示もご覧いただけます

— 南 真木人 (超域フィールド科学研究部 教授) —

5. 最新の研究紹介

『人類基礎理論研究部言語情報学研究ユニットの設置について』

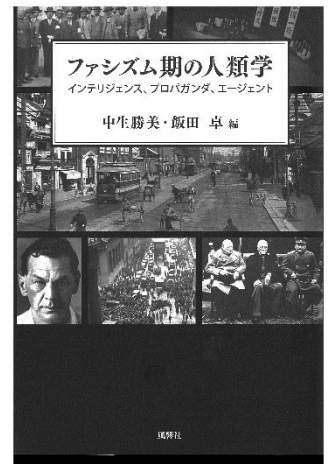
科学研究費助成事業の国際共同研究加速基金（国際先導研究）「『時空言語学』の創成：地理と歴史を融合した言語の変化と発展への新たなアプローチ」によって、言語変化を時間軸と空間軸の両面から分析する「時空言語学」という新たな研究分野を確立することを目的として、研究ユニットが設置されました。

— 菊澤 律子（人類基礎理論研究部 教授） —

6. 最新の研究紹介

『ファシズム期の人類学—インテリジェンス、プロパガンダ、エージェント』

科学の発展の道筋は、社会状況を反映してさまざまなかたちをとります。本書は、ファシズム期に各国が展開した科学政策に関連して、民族学（人類学、民俗学）分野でどのような変化が生じたかを広く深く論じたものです。



— 飯田 卓（超域フィールド科学研究部 教授） —



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp